



首輪を付けるまで2カ月、リード(引き綱)で散歩ができるようになるまで8カ月かかった犬が、行方不明になった犬の匂いをたどり、捜してくれるようになるとは思いませんでした。

神経質で他の犬を受け入れなかった犬が、心に傷を負った犬のケアをしてくれるとは予想だにしませんでした。名前を呼んでそばに来てくれるようになるまで10カ月かかった犬が、人になれていない子犬の世話をしてくれるとは想像もありませんでした。

た。触れるようになるまで1年かかった犬が、私を助け保護犬たちをまとめてくれるとは夢にも思いませんでした。

今、しおんの会の活動の協力をしてくれている犬たちは、元保護犬で当初はみな触れることが

どいろいろと調べましたがどこにも答えは見つからず、悩んだり不安になりましたが、そんな時、ある方から「ありがとう」を言うようにしてみました。

「リオン、うちに来てくれて

どんな犬にも可能性

いつも「ありがとう」の言葉を

が抜け、犬たちもだんだんと体を固くしなくなりました。今も特別なしつけはしていませんが、いつも言っています。

「リオン、ありがとう。頼んだよ!」アツケ、モリモリ、いつもありがとうね。子犬をお願いね!」

なれるまで長い月日がかかり、苦労した犬たちばかりですが、どんな犬にも可能性があると教えてくれた子たちばかりです。そのことを一番最初に教えてくれた今は亡きユウジをしのんで…。みんな、ありがとう。

できませんでした。どうしたら触れることができるようになるだろうと試行錯誤の日々で、私の愛犬リオンなどは威嚇がひどく、「この犬は一生触ることができないのでは…」と思ったこともありました。しつけの本

「アツケ、触らせてくれてありがとう!」「モリモリ、元気でいてくれてありがとう!」「ふつうの当たり前と

思えるようなことでも「ありがとう」を言うようにしたら、犬たちと接する時も自然と肩の力

(福澤 智子)

ふくぎわ・とも「NPO法人ドッグレスキューしおんの会